一般社団法人つくばベースボールクラブ
中学部　硬式野球クラブチーム

2023/9/30

どんなクラブ？

「こどもたちに豊かな人生を送ってほしい」
「スポーツマンシップあふれる人材育成」

2017年。指導・育成方針を再考し原点回帰。
主役であるこどもたちが野球をもっと好きになり「はやくグラウンドに行きたい！」という気持ちで野球に取り組めるよう、指導者のあり方やチームの仕組みを見直し。こどもたちが主体性を育み、創意工夫できる、思いやりに溢れた人間になれるように、失敗を恐れずにチャレンジできる「令和時代に合った新しい野球の環境」の提供を行っています。

運営組織概要

一般社団法人つくばベースボールクラブ

代表理事	堀田　哲也
理　　事	平山　伸太郎
理　　事	大室　師一
法人監事	河嶋　豊

つくばベースボールクラブ
活動目的（ミッション）

1　令和時代にふさわしい新しい野球環境の提供
2　スポーツマンシップの理解・浸透
3　エンジョイベースボールの実践

クラブの願い

選手の主体性を育む
創造力豊かな
思いやりのある人間に

少年少女スポーツを取り巻く環境は、純粋にスポーツに取り組むという環境からはかけ離れ、大人の欲求を満たすためのものになりつつあります。子供達は大人の指示通りに動き、間違えがないように行動します。いつの間にか「上手くなりたい」という気持ちは「失敗したくない」にすり替わり、「野球がやりたい！」「面白そう！」と思って始めたときの気持ちや主体性は奪われていきます。今、結果を求め、失敗しないように指導することは「失敗を恐れ、自ら行動できない」「指示待ち」「思考停止」人材を生み出すことにつながります。

私たちはスポーツをこどもたちに返します。こどもたちが自分で考えて行動できる環境を提供し、失敗を恐れずにチャレンジすることに賞賛を送ります。そして創造力豊かで思いやりのある人間になってほしいという願いを込めてチームを運営していきます。

チーム理念

スポーツマンシップの理解
エンジョイベースボールの実践

理念に沿って活動・行動することにより、結果として主体性や社会性が自然に身に付いていくことを目指しております。

そもそもスポーツとは

①スポーツとは

スポーツ=運動(身体活動)+ゲーム(ルール+競争+遊び)
楽しくなければスポーツではない
スポーツは**勝敗を競うこと**が前提。よって、私たちは全力で勝利を目指します

②スポーツマンとは

Sportsman=Good Fellow スポーツマンは、他人から信頼される
カッコいい人のこと相手は同じ野球をやっている「仲間」であり、敵ではない

③たかがスポーツ、されどスポーツ

スポーツは人生を豊かなものにするもの。ささやかな遊びにすぎませんが、
その複雑さを理解して、真剣に取り組むことで大きな価値を発揮します

スポーツマンシップとは

Good Game を実現しようとする心構えのこと
私たちが生きる上でも重要となる人格的な総合力のこと

①尊重

プレーヤー(対戦相手/仲間)」「ルール」「審判」を大切に思う気持ち（姿勢）のこと
さまざまな立場や多様性を理解し許容し、つねにフェアに行動することが大切です

②勇気

勇気とは、困難やリスクを恐れない気持ちのこと
自らよく考え、責任をもって決断し、実践するチャレンジ精神を大切にしましょう

③覚悟

覚悟とは、勝利をめざして全力を尽くす気持ちのこと
困難や苦しみを受け入れ、あきらめずに愉しみ抜くことが大切です

エンジョイベースボールとは

好きなスポーツに取り組むにあたっての大切な
Player’s　Action（行動指針）

①各々がベストを尽くすこと

上手・下手は一切関係ない　自分が今できるベストを尽くそう

②仲間や相手に気を配ること・多様性を認めること

仲間に思いやりをもって接しよう　それぞれの多様性を認め合えるようになろう

③自発的に努力し、工夫して上達を目指すこと

誰かにやらされた瞬間に楽しさは薄れます
自ら主体的に努力し、工夫して上達を目指すことが大切です

チームの特徴

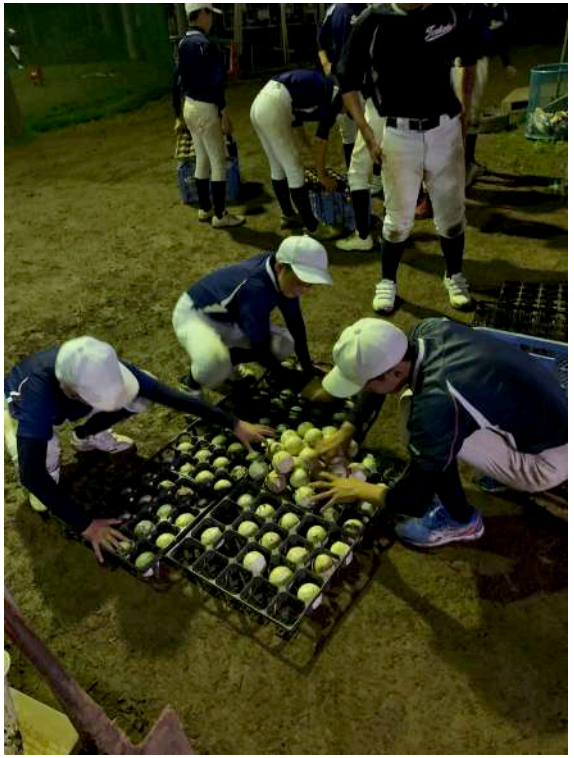
1　自分たちで出来ることは全て自分たちで行う環境
2　失敗を恐れずチャレンジできる環境
3　自ら考えるプロセスを重視した指導
4　活動時間短縮
5　当番・父母会なし　保護者協力は任意・最小限
6　障害防止・コンディションづくり
7　育成活動との連携

特徴① 自分たちで行う環境

■自分たちで出来ることは自分で行います

例：グラウンド・道具の準備・片付け、グラウンド整備、塁審
ボールテープ巻き 試合中のお茶出し、部室・倉庫掃除

こどもたちが主体的かつ工夫して行動できるようになるには、こどもたちを取り巻く環境が重要となります。大人がそばにいるとつい手を差し伸べてしまいます。子どもたちが行うことによって不足する分至らぬ点もありますが、失敗は誰にでもあることです。失敗を糧に成長することを期待し、どうかその失敗を温かく見守っていただければ幸いです。



特徴② 失敗を恐れずチャレンジ

■各々の選手が成長するための試合環境を準備します

私たちは常に「目の前の選手にとって何が最適か」を考え実践します。こどもたちの未来を見据え、変化を恐れずにアプローチしていきます。

2024年度から保護者負担も考慮し、参加大会を再度検討。
成長機会を創出を考慮し、独自リーグ戦の活用を視野にいれて活動していきます。

1年生：独自リーグ戦の参加　公式戦への出場
2年生：公式戦への出場およびリーグ戦への参加
3年生：公式戦への出場

特徴② 失敗を恐れずチャレンジ

■選手全員に試合出場する環境を提示します

しかし、前提として「野球が好きで、自分の意志で取り組んでいること」が必要です
一生懸命プレーしている選手に迷惑がかかる場合は出場できないことがあります

一生懸命に上達を目指して努力する選手には当然試合に出場する機会が必要です。
また選手各々の心身の成長スピード、スキルレベルは異なります。
小さいから、できないからという理由で試合に出場しないことはありません。
試合と試合の間に練習がある。選手たちは試合で成果を出すために練習に取り組んでほしいと考えています。

特徴② 失敗を恐れずチャレンジ

■失敗を恐れずチャレンジできる環境

将来、子どもにどのような大人になってほしいでしょうか。
言われたことをきちんと行う人間でしょうか。
それとも主体的に自分で考えて行動できる自立した人間でしょうか。

子どもたちと指導者が「協調」の指導体制を実行します。
子どもたちの将来を見据えた指導を行い、ティーチングとコーチングを実践してきます。選手は目の前の結果にとらわれずし、ミスを恐れずに思い切ってプレーしてください。そのチャレンジに賞賛をおくります。

大人・指導者の目をみてではなく、子どもたちには自分自身と向き合い、
目標に向かって必要なことは何なのかを考えながら取り組んでほしい。
選手自身が目標を掲げ上達を目指す環境を準備します。

×支配型　△放任型　○協調型

特徴③ 指導について

■野球をこどもたちに返す
こどもたちに「変化に対応できる力」をつけてほしい

「もっと教えてください」「もっと指導してください」「勝てるように」という心情は理解できますが「やらされる」ことはこどもたちのスポーツを奪うことになります。取り組み姿勢が受け身の場合、その先の大きな成長は見込めません。私たちは基本の伝達（ティーチング）を行いながら、子ども達が主体的に考えて行動する習慣を身につけられるように促していきます。

そもそもスキルは、道具の変化やルールの変化、トレンドの変化によって変わっていきます。昔教わったスキルは現在どうでしょうか。変化球のトレンドはどうでしょうか。
スポーツに限った話ではなく、世の中の変化に気づき、変化に対応できる力や習慣を身につけることが大切であると感じています。

今、子供達が取り組むべきスキル習得は「指導者が好む」ものではありません。
指導者は学びを止めず子供達に還元していきますが、それが正解というわけではありません。あくまで子どもたちが自ら考えるプロセスを大切にして指導にあたります。

特徴③ 指導について

■早熟傾向・晩熟傾向

一般的に暦年齢に比べて心身の発達が早い場合を早熟、遅い場合を晩熟と言います。これは体の個性であって運動能力の差ではありません。早熟か晩熟かは、骨年齢（骨の発育スピードで判定する年齢）や身長最大発育年齢（身長が最も伸びた年齢から判定）から予測していることが多いようです。

晩熟傾向の子どもに早熟傾向の子どもと同じ目標設定で取り組むことは、無理な活動となってしまいます。反対の場合は晩熟傾向の子どもにとって物足りないという状況に陥ってしまいます。

私たちはそれぞれの成長過程を理解できるよう促し、各々が自分の目標地点を見据え、ステージに見合った練習・試合を実施していきます。10年先を見据えて、野球をツールにした人間形成に取り組みます。

※学年問わずゲームに出場することもあります。　（中学生時期の身体成長は±3歳の差）

特徴④ 活動時間の短縮

■練習時間の短縮・自主練習の導入

平日　（火・木）　18：20～20：30（平日完全自由参加）

土曜　8時30分～12時　（希望者は15時まで自主練習）

日曜　8時30分～15時解散（ゲームの場合が多い）

※3連休の場合、1日はOFFとなります

※子供たちの様子をみてOFFをつくることがあります

※試合の際は解散時刻は試合進行に応じてご連絡いたします

※大会の場合は大会のスケジュールに応じた活動時間となります

身体が成長するこの時期は練習と同じくらい休養も大切です。自主練習を導入することで自分の課題を自ら考え、主体的に取り組むことにつながっていきます。
全体練習後は自主練習・学習・家族との時間をもつことなど有意義に使うことが可能です。
決してお腹いっぱいにはさせず、はやく野球がしたい！という気持ちで野球にのぞむことを重要視しています。

特徴④ 活動時間の短縮

■子供たちの知的好奇心を大切に

時間的な余裕をもつことによって、野球だけではなく様々なことに興味をもってほしいと考えています。思考が「野球だけ」になってしまうことは将来的の進路選択に支障をおよぼすと考えています。将来を見据えて様々な種をまき、将来それぞれの花を咲かせてほしいと考えます。

特徴⑤　当番・父母会なし

■保護者協力について

平日・休日ともに当番はありません

可能な方のみご協力いただいております

協力項目

※試合の審判員　アナウンス（現在はマネージャーが担当）

※大会時に球数カウントや得点版のお願いをする場合があります

※4月末～9月末まで各自氷を作って持参していただいております

ご家庭により生活スタイルは異なり、家族構成も当然違います。父母会や当番への参加が保護者負担となることは避けたいと考えています。野球を取り巻く環境の是正と子どもの成長をを第一に考え、野球に関わる人すべてにとってよりよい環境を作っていくことを目指しています。保護者の皆様とは子どもの成長を見据え、コミュニケーションをとっていきます。

大人も含め「野球嫌いを出さない事」 これも大切なことです。

特徴⑥ 傷害防止・コンディションづくり

■選手のコンディションづくり

・メディカルチェック（肘検診）
・オンライントレーニング・コンディショニング相談

怪我が野球をやめることのきっかけになることもあります。
また、医療機関の協力を得て選手のコンディションを確認
しています。怪我の予防には最大限努めていきます。

国家資格理学療法士資格保有の渡辺大雅コーチがこどもたち
のコンディショニングを担当します。自分の体を上手く使えるよ
うになると、プレー向上にも繋がり怪我をしにくい体になります。
※令和元年度～　移動型MRIにて肘検診を行うことにより、
　傷害の早期発見につとめています。

特徴⑦ 育成・普及事業との連携

■つくばBBP事業・つくばフューチャーズ・中3スクール

目的は5年後、10年後にむけて普及・育成を進めていくこと。野球が魅力的なスポーツとして存続していくための活動です。すべての野球愛好者に思う存分野球が楽しめる環境を提示していきます。

※フューチャーズの事業には中学生に協力してもらう場合があります

※毎週月・水・金曜はつくばBBP施設貸出事業、土曜・日曜の午後はつくばフューチャーズが活動しています。また2023年9月より中3スクールをスタートしております。

その他

■食事トレーニングは行いません

消費エネルギーに対し、摂取エネルギーが上回ることは成長期には欠かせないことです。反対に炭水化物の過剰摂取は、脂肪過多になり、成長ホルモンの分泌を抑制することにつながり、早熟傾向を強めることにつながります。

私たちは子どもたちの成長に伴って身体が大きくなっていけば良いと考えます。3食バランスよく食べ、もし補食が必要な場合は各自持参してください。

その他

■投球制限目安

1年生　1試合30球～50球　ブルペン練習30球
2年生　1試合50球～80球　ブルペン練習40球
3年生　1試合80球　　ブルペン練習50球

※投球距離も成長度合いにあわせて制限をしています。
※中学硬式野球ガイドラインに従います。

投球過多も傷害の要因に挙げられますが、関節可動域の問題や機能面（動作・フォーム）の問題も大きな原因となります。

※平日はバッティング練習やトレーニングが中心のため基本的には週末のみ投球となります。
そのため投球数は抑えられるようにしています。

現在行っている取り組み

■ PFFLへの参加

友好チームとプレーヤーファーストを念頭においたリーグ戦を開催しています。
審判も含め運営はすべて子どもたち。スポーツマンシップを学ぶことを大切にしたリーグ戦となっております。

■育成リーグ戦の開催

チーム内を学年ごとに分けてリーグ戦を行います。
出場機会を均等にし、チャレンジする機会をつくっています。

■年度更新制度

来年度の活動を継続するかどうかを確認します。他にもっとやりたいことが見つかったり、なかなか野球に気持ちが向かなかったりする場合は、相談して更新するかどうかを決められればと思います。保護者の方も同様、考え方に相違がある場合などはご相談させていただきます。

現在行っている取り組み

■野球以外の思い出作り

仲間との思い出をたくさん作ってほしいと思います。夏休みには毎年サマーランドに行っています。合宿も年1回行っています。

施設設備

■専用グラウンド

屋根付きバッティングゲージ7箇所・外ブルペン2箇所
ティー打撃8箇所・内野天然芝練習場・壁当て・水道・トイレあり
バス所有

■茎崎高校グラウンド

主に練習試合を行います。
学校敷地内のため全面禁煙なっており、
保護者の方の観戦は所定の場所にてお願い
しております。

練習設備(専用G)

施設設備について

■ 2018年　専用グラウンドの天然芝化を行いました。

こどもたちにとにかく「楽しく」「気持ち良く」プレーをしてほしい。
こどもたちの成長のために、活動しやすい施設環境を整えていきます。
短時間で効率よく活動することも施設整備の目的のひとつです。

在籍選手のみならず、未来のこどもたち・野球愛好者・地域に開放できるように整備を少しずつすすめていきます。

送迎バスについて

■送迎バスの運行

土浦駅→荒川沖駅→ひたち野うしく駅→（牛久駅）→グラウンド

※火曜・木曜・土・日

※場合によって行きのみ等バスが運行しない場合もあります

つくば発→研究学園駅→万博記念公園駅→みどりの駅→グラウンド

※平日木曜のみ

年度によってルート変更・曜日等　運行状況が変更する場合があります

■法人格（一般社団法人）での運営

2019年法人格を取得。社会や地域に対し、責任と義務の所在を明確にし、活動しています。野球のクラブチームとしてのあり方を社会に発信していくことが目的のひとつ。令和の時代に見合った、新しい野球環境構築が法人の目的です。

費用

■入会金・会費

・入会金　　10,000円（初回のみ）

・月会費　　14,000円（兄弟姉妹所属の場合は2人目半額）

・年会費　　10,000円/年（途中入会者は月割り）

※その他の出費、父母会費はございません。

例外：合宿費用その他イベント　2023年実績

1年生：前橋遠征　2年生：仙台遠征　3年生：静岡・堺遠征　夏休みサマーランド

在籍期間（会費発生期間）は中学3年8月末までです。

※3年生は9月以降は中学3年生のスクールを提供しています。

購入物

■入団後にご購入いただくもの　※価格はホームページに記載しております。

試合用ユニフォーム（上）　　試合用帽子
練習用Tシャツ（練習試合兼用）　フリースパーカー　ヘルメット

■任意購入
グラウンドコート・ベースボールバック（リュック）

■各自ご購入いただくもの
硬式用グローブ
スパイク（白　ローカット推奨）
試合用ストッキング（ネイビー、かかと付き推奨）
トレーニングシューズ（白色）

■保護者購入物　なし

こどもたちの活躍

チームを巣立った子どもたちの高校や大学、社会に出てからの活躍を心より祈っています。こどもたちがいつでも戻ってくることができるクラブであり続けることを目標としています。

結果や評価はこどもたちが社会に出て、数年後に形になって現れると思います。
社会で主体的にかつ創造力豊かに多方面で活躍してくれることを期待しています。

新しい仲間を待っています

■理念に共感いただき、一緒に野球を楽しめる仲間を待っています

野球が大好きな人・野球を自ら学び、上手になりたい人
エンジョイベースボールおよびスポーツマンシップの理解に共感いただける方
初心者でも全く問題ありません。

■下記のような場合は入団をご遠慮いただいております

・高校への進路が第一の目的の場合
・保護者の方が「こどもにもっとガツガツやらせてほしい」と考える場合
・子ども本人が野球が好きではない場合（保護者の意向で野球をやっている場合）

当クラブでは一生懸命プレーしている子どもに対し、プレーの失敗について怒声や叱責を浴びせることはありません。しかし決して「何でも許される緩いクラブ」ではありません。
生活面や社会性については細かく指導していきます。子ども・大人も含めルールや秩序・規律を守れない場合は入団をご遠慮いただいております。

練習見学・体験について

新入部員練習見学および体験を随時行っております。
個人単位でも構いません。是非、活動する子どもたちを
見てください。私たちの取り組みを目で見て、体験し、
何かしら感じていただければ幸いです。

＜連絡先＞
080-4177-0298

tsukuba.central.senior@gmail.com